下支部を来すことはなからうと、大腿終了してとのやうであるか大腿終了してとのやうであるか、後事等でも競材その他の手寄を

結城藏相語る

物價對策委員 會の審議方針

宣答献した模様であつて國防費の 問題とは明年世界がの編成をして

将来に属する見透困難と物位體質

7日午後蔵相宮郎において左の如

強局に直面せしむべく他

あるが政府の財政政策に就でも面に亘つて思量深き方ばかりで問金融の官の諸氏は何れも各方

寫眞

はわが影響艦足枘

同五時四十五分ポークマス軍港

著十九日夜は軍港町に御

長さ六三、翻二温に重るフッヨ初の斉四年。新五十四、艦列の

こに配る、ジョ

で『チャーアップ』を三覧・同

六定更に俗国艦隊の得難足嫌を 中が原派されて自治師を記三十

> せられる。この時は、極ポルソン 御坐架模指を終れ、別に近付か リヤ・アンド・アルバート歌に ベス皇后と御同列にてヴィク

便能のはされたが明くれば二十

陛下凸親士エリザベス般下には 地でダイクトリア間を倒離散、

> ス本国際隊の諸観五十八歩、地 先行される、 参加 脳鹿はイギリ

ーツマス廿日同**盟**】英帝ジ

丁九旦午後三時二十五分特別列

織においても未だ見遠し立たざる

音級したが、十九日の個話院本質 その見造の困難なることを率直に 側において将来の財政派徴に陥し

東京に西」結城数相は第七十

明年度豫算編成は

選大曜日に定例開催、各局長龍に官房課長が多典して各局龍の直要問題

として概要な位置になるが、従來の聯絡機關、を報託し、各局職の際路機關としてまた調賞、政務

別、活門的機関政務が監の長島と間機

移し或は指示するなど感気の質質能推進力たらしめんとすこと 意見を関した上、その可否を決定直ちに實行に 究討議した上、これを局 長會議に 提出各局長の

いては内傍、財務、警務三局長において一應研 **ミしての機能を一ル前進せしめ、重要政策に対**

ので、施践方動上の重要改革とてその成果を期待される

大政策撤退の顧明機構だらしのることになつた、本府局長部談は健教研史に事品施業の開談ともいよべき本府局長額談に職革を加べて軍総督工において夫々開射すると東に斉徳唐橋を題じ强化蔵区を所してゐるが、曹總督斯武宗の賃行に狙いては斉道県事館談、實際部長歌評をの修築談

政策推進力とし

・府局長會議を強化

重要案は内、財、警三局長で事前檢討

曾議決定案は直ちに實行

を動心が駆ばられジョージス世 【ロンドン十九日同盟】技が

慰覚を御贈継継ばされる報告との動意御贈継式は十九日正午バたエリザベス暴信には動一窓餅。 顔菱龍あらせられたがこの明れ

下に併列面卸接拠あり数下には

つジョージ六世エリザベス病阵 彦人態はされた、開始下にはま

を御出鍵、同十一時五十分止面一時倒宿舍ハイドバークホテル

これた妃屋下と御風勇、午館十 され鳩色のアンタースーンを召

止門よりパッキンガム宮殿に御

皇后陛下にそれぞれ細波し遊げ

世陛下より御答解ありそれら された。これに動しジョージ六 に、動一等資活章をエリザベス 郷化電頭節をジョージ六世陛下

陛下に大動位家花章遊師を、ま

り、秩父宮殿下に對し兩動罪を

本語で御傳達

晴れの勳章御贈進式

の御沙汰を

【東京集出】文部省所管地万長官 四日 文部省關係

地方長官會議

り正午過ぎ文部省所管の資施を表長証より融々質問施に認起開練る「疾頭林業講文理上り訓示をなし各 **新文相、河底次官以下關係官出席** 寶藏室上開催他田北海道, 館東京

常記前長等出艦班所開より盲用は「整家を重ね午後一時半前部した 荒井正前部長以下各種間野、村上「解局長部出際午錠をともにし爬々

知事の測示の後、高骛楽器長から知事の測示の後、高骛楽器長から く民衆の立想を理解し又深く有の記配、民衆の慶遇について 原虹問題となってあた繁気層

勢郎

背に自粉をつけてゐた時と望つて 室では盤絹が長部窓のまく長火紙 ら何からつとりと考べてゐたが、 次円数を飲みなが 『だからお出でよい 見こみがある。 んには、見こみがあるこ

の飾へ壁つて、

配しててゆつくり遊んでるおやねえ でお作品さん、あるのだよいか、収さんあるかない 、主翁の邸をた

をしてゐた。

六郎は腫いやうなぎ

微笑した。

っまだ壁るつ 何だら

市場りを示し、職間に見れば 要実用として使用されたも の七十九歳七十七百四十二 長に長び前年に比し五十二 長に長び前年に比し五十二 長に長び前年に比し五十二 長に長び前年に比し五十二 長に上てかるかを物語る。次 上してみるかを物語る。次 上七本界で使用した変流は 上本界で使用した変流は 上本界で使用した変流は 年度は百六萬六千貫 刚年此四割四分增

宇垣大将、再び

六千三百九貫、四割四分の湖 士三貫で前年に比し三十二萬 量を見ると百六萬六千九百六 昭和十一年度中火売消費の許 火頭消費量にも反映してある 郷の迦庇振りを示し、これは

【東京電話】東京市長後任の交渉を受

・ 19 によって、 19 によって、

小注意事項をも提出、質談に入つ

主管を初め無禁部、内務部の指統派を以て述べた、直もに監務

◆種店前前客管理局投 廿二日午 ◆種店前前客管理局投 廿二日午 き」で表版員印里点へ赴任する ◆単版主一良氏(新任本的文字課 長)廿日午後二時担ご分享或者

二十日午期三時歸任
二十日午期三時歸任

変量より重ねて就性を懇請したが宇宙と正式難退回答をなしこれに對して各

廃部前を動きすべしとの必認が有力で学起氏への交響は行句りとなる模様である氏の智益は、学起氏は同三十分智夫した、市館には三度思典すべしとの能があるが自然に守つて恋の氏の智益は一度思典すべしとの能があるが自然に守つて恋の

交涉

の消費者代表を加へることについ ないことになってある。なほ問題

に倒

政民の

共同戰線強化に努む

復語に引置いて全國主要都市に本部共同主催の大演就所、地方支

部主艦の演説所等を開催することとなる等でまた南面共同で

Ş

こあんさり可愛から

林首相の辭職を勸告

についても芳屋が

すれや、何度かへ往きやがつて、こ 言うよ、ちよいと眠つかふりを

くもおかしくもないよ。

から、また管を養くつもりだらう

ぐつてる おまへさんこれ

政治電の見透しといふことは今 入り評問言甲の形式を避けること 【東京電面】様質相は識別によりかく、難しいだらうと思ふ、財 恩の提用を伴って良難師な複談に 林 首 相 顧 問 宮 招待 温みも加はつて食草の鍋皮はな 坚の提用を伴って良難師な複談に 林 首 相 顧 問 宮 招待 編輯歌時代であり鍋皮はな 坚の提用を伴って良難師な複談に 林 首 相 顧 問 宮 招待 編輯歌時代であり鍋食はは、 といなる歌劇である 編輯歌時代であり場合は、 はめくまでも表演歌韻の 真純節師 大になる歌劇である には 正常落晶ともよく結合って見 「宝三二四] 歌時候[黄気衆美] [四版んでゐる、田景商相は一、 「日からは、十八日午後二時か の候補者を感中に疲してひるので なくだく實際問題としてその人選
てる大體既府として脱別的に異常 日用三穀事長及び十九日の用派代表委員端証面で う努力する一方打倒林内間無限に原律することになった。即も南 【東京広記】林内閣の打倒に働する戦災南流の職整陣は去る十四 完全な結成を終へた。既郷を帰収するや

職打倒の緊縮喚起に弱めること、なつてをり、二十八日の共同が

際はは成城域の問題本部に関力、関係担任委員の支持の下に採り

ま八月下旬の暗暗語館に掛り越ず供れがあるので、この場合語館師するものとも複想されず、歴色の場合には政府貿銭送前前のま

って、その際に手をかけた。

『どうしろと云ふほど、まだはつ 『どうしろと云ふほど、まだはつ

勝路なら、何でも出来るだらら、

六郎は蘇い夜香のある軽床へ往

およいと、おまいさん、麒麟の一きり行べてないか

様はれつくある。しかしながら林首相の言動に欲しても厭節に退

帯を御手交遊げされ終って無評 日本語にて、翌上近下の御沙汰 を御僧建設はされ、大いで御親 **生実施な宮に納められた大動位**

質行はせられた、秩父宮殿下に

キンガム空殿において騒かに

は随事少位の側正装に破儀を正

十日午前九時上り本省大り午後大彩省所告題記に成つた 十日正午間が顧問託を国際に沿 時半から京電道電影とに開館、 平 兵脈長其の他の出席もあり、

火藥使用量激增

京歌道教泉署長台部は廿日午町八一府から伊藤等務部長、太田三 けぶ道廳に開かる

京畿道署長會議

除らざるやうこれがプログラム配置に採集の寄むを飾つてある 天地支黃

この影響に楽聞に 人れて前頭蛇尾に

同何が際略だい、

へ やないか、お言へさんは軍師だか のやうな歯にゐないで、何處か尉 このお太陽さきの厭るのに、島龍

大部は横にないらました語を起

『時略よ、神義を持つて来て、文一やないか、おま

六郎ははじめて腿がはつきりし

者でも、腹が立つが、軍師はよかはれちや、いくら佛経のやうな拙

「軍師はよかつたな、恩智器と云 ら、何か良い劣へがあるだらうこ

幕知らんと欲して措かざるとこ 皇室の御近領を認語の國民の朝 松平宮相が各地万長官を招き いこ、力味合ふところが見るの こさせのやう双方とも強重に倒

> でがそんな事を云やがつてこ たと云ふやらに纏綿を見た。

『ちよいとおきへさんの家を引い 『ふざけちやこまるぜ、てまいま

「よかつ たら、その印師の 智惠

ん。臨紀の極みの放映と監護、何ぞこれに過ぎ 竹の間生の御禁婦、一個本子 院梁を厳戚せよ 貨家機能に附ものと選ぶ王の 兀教官と陸軍生徒の、リレー

『さうよ、お宝へさんには、わた

いがいち よつと考へ て 「待てよ

と遊ばしておくれよい

わたしを今日、

一日、観びり

気を引いてみた。

は同様器衛兵魔式を行ひ器政 設高い玉座に起立施はされ双

国歌を三世吹奏する「お召覧に 萬歳を三唱し軍業隊はイギリス **逝を掛けメーンマストには即令** 機に答べて一々御答機能はされ 眼院を御手に御祀院、各艦の敬 る、この開身治陛下には艦橋の ガ・ザ・キング」の国歌を吹奏す 母に軍器隊は コッド・セー 。、 帝國軍艦足術は午前八時早 終得して参列、皇帝関連語の際 少將旗と共にイギリス軍艦旗を くる回転節を施して境尾に川塩

艦列の長さ六浬、幅二浬・

けふ戴冠式觀艦式

め四変が健ふが、狭文皇名代宮 同妃南意下にはイギリス軍艦ク 置いて各国代表新聞記者を乗せ

終るやネルソン壁の信號により

してイギリス海峽を嵌ふ、韓國

三型を従へ逐天艦列の間を縫つ 艦はメーンマストに皇帝順を継 各艦一湾に登旅機を行ひ、おび いしつく先陽水雷艇四歩供奉給

て進み各職は富畜衛兵の捧銃、

離めなない少り鮮めさせると

倒閣運動に對しても

素の世達者
解消滅はイギリスに流がわする
解消滅はイギリスに流がわする

推彦のみが報恩の方法に非ず 本日ク刊八頁 「歌心だとも、おまへさんの陰略」「帝つこともないだらう、りつば「歌心だとも、おまへさんの字、おかな、かれば歌を見ていたさざるの良いのには歌心したよ、おんななお歌を見されて報まれてるのした。 からに死す、漢を見ていたさざるのした。 からに死す、漢を見ていたさざるのした。 からに死す、漢を見ていたさざるのした。 からに発うした。

てれ

-

畵 作 (57)

でいくから、お出で上、おまべさ 「うさけやがるな」

その顔は選品かった。それだけ下 問風のきびきびした顔が一般きび 共産へ落ちつきのある遺伝がし 長穴鍼を無てて変し前ひになつて 後巴蓋を新らしく吸ひつけて、 六郎 煙管を眺り、密やりと美つて一口

即は緩弱の方をもよいと見たまく ト往つてゐたところであった。 六 「へんな罪を云ふが、何だい、b て大郎が入つて来た。大郎は御水一殿つたり 『おまいさん、これからどうする **でどうするものか、** 緩組も笑つた。



ボク等の怪我 パパの鬚そり み みんなが使ふ マのお化粧 んなに役立っ ンソレータ

+

禁庭家之界老 陽器は海神密頭吹か泰外肌 特 や 5 批 鑑 選 3 数 け後下疾端衛衛的れ虫引れ

一九四二價 四八十十五五 十五五十二五 数值值值



ける朝鮮神宮参介 報恩リレーの 三翁

簡鬼及買生 否打

樹脂された、同點では右葉攸奥越」で収五子四の意味ぎに見り、そこその側を観として五千面の泥鰌か、投き取つたのをはじめ、同じに記されて

が手であばかれた――既報 | 西郷に達するので所郷東大門器で | 不世的機能「こな解析("n)」 鮫 ねがあるとが纏り十九日東大 | 村を中心に卒事が続行しての戦部「曹弓」)を郷外機とし、同じくほど | てんわれば「曹弓」)を郷外機とし、同じくほど | てんわればりに続いる視察 | まれたのをはじめ附近一番の文化 | ところ、楊州郡出れは財不定説明 |

下に十二名のテンピラを問つて新 となり腹配の深を動しの家しし **空巣團じゆす繋ぎ**

干滿間斷

明倫町一帶を荒した

別を選奏でしる連邦したが、既女が顕都にさしてある別領語と

関係祭司法院では低級の如く去る。京域府上水域和二五九金量はさん

鍾路の旅館主も檢學

四日原民語館町七九根彰緒方で一方に忍び込み、フトンの下に入れ

師恩に影響する数へ子三百名の揺きを受け解御南

内で午田十一時間が勝宮に参行なぬ付所、関文者、明現を

についても取職べを開始、なは相 の農家であって母野様

づれる中流の家庭

叫は學校で賣り

關係者の處分

ニーペルメル

主、生徒の確認が議者の心を痛めてゐる

・重き連絡を取りこの際不良學生の一齊 検撃を行って教育界の明朗か生態の解絡が編者の心を締めてある謎とて、京都道學術院局でもはつて配けず、併召各場

市を開き殿友に置り開いては支那料理店等で遊興してゐた由々しき不幸事件が経覚し本町

かも盗んだ品を堂々神聖な學園に持込んで

し、京城府内のデバート、本屋、文房帽の商業學校生従が街のピケ児等が

大郎資系麒麟女王流音二雅から謎。月雨のあがつた学説の墓には異世。【大師裏語】世月年前七時二十分「苗代、奏作にも翳しい雨とにり五』

冷禁目を横綱

ける番附會議

一三四城大陸學部月具科副手向

二人の想ひ

あこがれの丘

兒

やあけみ

WAS TO SEE THE SEE THE

原人男

そのはゝ別れて お小夜島

た数代人

それからどうした

扇

脂神經科 内科智温病

代

宿舎焼く

負傷者はない

近はれてゐた預野の個手には慈雨 雨かゆり出し、雨男子足のため気

午前六時現在鮮内各地の応用量は

降

遂に本町署に擧げらる

京城教育界の不祥事件!

を 解析に大センセーションを搭起してある、最には中央高型生徒の刃傷事物があり、

盜窃

服

他にも連累者

ある見込み

供したので、重もに帰国、

總監より通牒國旗の指指さ

國體明徴の具現に

削を以つて政務地質迦牒に つて各位に、強したが、本 今并用政務語監の通牒を以

つてあるが、十七日午後一時半ご | と連れ立つて訪れ、女鵬を開ける自命する様人郷が出場分泌底を掘。関もなくもう | 人の人相の思い男はが予えば四に民族財産生際成と この郷まで総分したのも立もより、||

一種に確遇となってある。 前一に家の時で家の神の家道を開び入野人の家の神の家道を開び入野人の歌の屋内高くをやってあるのでは、 いかと目下登巻はを告願が入野人のいかにの家の神の家道を開び入野人のでは、

つたか地から通いたか、忽然 なかつた十三百の土蕃が天から降

在の土地を展開工一帯に移動さ

景 町番地不能住民(よ)を纏いてその

空巢の下檢分

一人組怪人物現はる

雁女林菩薩さん(*L)が留守田中、 ろ京湾営井町七○宮田實さん方で

てやらなかつたところ、そのまと といふので林女が起しくなり聞け

選民達にあきれてゐる

リヤカー轢く

州五歳位の洋服男が訪れ「私は京」でを確ました

押入れに至るまで家の中を開か一路衛、風磁を目的とする話かあら

仮性にかららぬやうにと発出を

ひ请室町派出所に囲いて

۲

副産物に大物

どろぼうの家

門属北 北の風 後には暗殿南北 西沙宮 始めは暑

二川の潮時に

注目される関盟明教の

店から問題を、三雄、三

たか、取調べとしも

本町署學生係の談

右につき京城保護職盟主事選好 困った事件 / 導 州盟主事談

台北に向ふ

・ 責任者として著作申録あった有木戸珍蔵前りおでじゃらる収長の闘任を集つて打合せ、単に選進して停頼を除佐しくさりる扱りです。鄧分につい「【著述)共下前監」思信さる大 民多数の見越りを受けて悲しみの 午後六時半一路平安を配る代置原で迎れること二時間半にレて十九日 た南木行移民権りおでじゃねる丸

一十日田盟】朝日新聞社 左径今回の位身により戸主の死 線、開機、降上十三日間公嗣と

「香港十九日回町」思はざる大路 では、二十日午前九時から伽賀二所を無事行掲げた大日本相撲喧響 【東京性話】十三日制態がの原場 機能役その他

ねろ丸出帆

に三温町優勝の新紀峰を作った大

定し直もに脱本にある百田司宝に山) な、協議の結果関連一数態際に決って、高限は玉朝に勝つた日の 京商裏の堤に 忽然と上幕

緬羊君御入來

學校驚いて屆出で

土谷を咸陵里一帯に移聴させ「リヤカーが帆査を歩いてあた舵木・ 地市安守衛生の鑑かし着内に「ころが戦場する石炭半層を務んにいては時内各製に関力、大京「関ニア自西井コークス版の設版集」 列車十二輛で谷山

it. O

九二七②長話電

元山の種痘 天氣豫報

(H) 田 第八交線音曲

イル版 アイリーン ソモニリヘ 1



店鎖連プンラウト國全

IJ

様が新るがある ١

那根点と同時女。 にて却求め下いませ グラ 五丁目五拾番地 E L (本名)[1][〇街 ۴

京城府本町

14.74

品本川

猫

ap / De / All Fill

子火 子江

思けり思 www.リゴー 明み 子際久 前属ム

からいませ

属の大衆カソエーとして原城一めての建築制組織問意によ 紀居内には政居の殷伽がありますから祖加は係りに浦中付 上さいませ總で原們にて御来めが田来ますどしく、沙利用 の面目一新の上お目に伊政します

はねてるた事も戦明、

あたしのスキー

あき十 丸

生男

料なネクタイ

坍帶郵便局長

が断撃七つ。 びまる四月

チップシステムで情機に御安心の行く。副副四足の副へる居 の心も即るまゝに又も鮮都に難名物が出來ました、意明し木が人待も聞き古花撥倒として將に「年中の好季即」人々 き新装と雰囲気を続つてレビウースタイルの東京観がノウ 自信と語とを以て伸る古人の健康を守る非常時のエフェン こは中かたち清潔の初夏しスポーツにピクニックこ スとして戴く信サーヴスに、勇全を確して居ります 緊急ニュース

醫院

村店

美ムビア

き 子昇

エ・マリア 諏訪根

自

主題歌

4

度是联人/春季觀劇會 廣島联人/春季觀劇會 東海洋山田(日曜日)年中時時 東海洋山田(日曜日)年中時時 東海洋山地區(東西)年時時 東海洋山地區(東西)年時 東海洋山地區(東西)年時 東海洋山地區(東西)年時 東南洋山地區(東西)年時 東南洋山地區(東西)年 東南洋山地區(東西)年 東南洋山地區(東南)年 東南河地區(東南)年 東南河南

東南 班試觸委員長。 山翠麻三狼

堂々王座を占むる

が幸ひり原著は、かつた、北京財人中国が全人におりません。 歌門まどぶんぱつ 時は、火が燃を見たものと見られてゐるが幸ひり原義を単心し、歌、関節はピタチ語りの歌説に復常の

の金子方に身を寄せてみた虚脳エ は一年町に合意の上で難婚したシ スカラシ さんが全北南殿色の實兄

るや去る十七日曽心に乗り込み窓しきりに観察を迫つたが一蹴され 十八日夜南原航銀前の 描塚場でシ

集金を横領

雷公大暴れ

成異器で運動節、有趣者ら初十名の成果器で運動節、有趣者に関しては所轄 實は明瞭で一兩日中半額窓局の野 につき厳重取調べの結果違反の事 違反事實は明瞭

痴漢人妻を襲ふ

初夏を象徴する

機刺たる岩鮎

密陽江に群をなして躍る

六月一日愈よ解禁

調である、一方加当者も手営を施
へ、道工難院に収容したが生命危

中山は五年前瀬兵奉職中にシズカ

たが元来ナマケもので選兵も発験 さんと結婚何不自由なく暮し したので生命は那條ないらしいが

に掘めたが酒色に貼り業行隊に となり、その後別門、清津の歌劇 公園を招き被害者に聴急手留を加

で同梱では現場を検護すると実に

の天阪、雨量、軍温共に申分のない脳調さ多が近年稀れな暖かさであつたのとその後

せい若郷の突が舒揚することになった。然上一目から初望の覚緒に銀蝶の帯えをみ じめ到大海は手具脛びいて待り構べてある

動ファンの伽を湧かしてゐるが本年は昨年

をもつて純適したので認可も期るよく昨今

運動勝正の鯖漁は六月一日の酢類を塗べて「後山」 南鮮釣の名所となった洛東江の上

る機能からたいされ野海吸門の置発器をは置接五寸に及ぶ石線が静をなして清流に臨

共に南原客に駈け込み目首したの

用剤したカルモテンを嚥下すると 飛び込み帝水一様を所望して撃で びたまし程虹さカッエー目の出に は世間倒するのをみて返り血を浴

し前後左右二十一ヶ所の削傷を買

で謝多果きにシズカさんを果き刺 た際、隠し持つた九寸五分の短刀 か育郡無勢心寺境内に差しからつ

河童の走り……漢江上流驟州から

温騒されて横死した日く別の家で

看視人らを尻目に

悠々金鑛を盗掘

致され森樹事の手で陸重取調べ中 就牌、清州法院支藤殿事分局へ送

大泥壁高川高野野県(**)を複雑し、影響高駅郡上南面配乗里金頭部の 【策整】第四桁草梁町金重巻(長蔵) 巻では十三日市日野門の 哀れな人妻放火 (登山) 初磐日の佐岡西書

が同事性は申告が迅速であつた

市日荒し

の電影が数十版に上つてをり解音。 扱うとして複雑目下取調べ中と選手曲器を追う掛く、富を奏ひ のを明正の人々が趣取、離く消しと選手曲器を通り掛く、富を奏ひ のを明正の人々が趣取、離く消しと選手曲器を追うはく、富を奏ひ のを明正の人々が趣取、離く消しと、一般に対して、一般に対しままして、一般に対し、一般に対して、一般に対して、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し

留守宅侵入

盗んで賣る

も大陸極まる犯行に一節してゐる

盗んだ金は僅か一圓廿五錢

九人組檢事局送り

個院に春殿上展々段数を迫つてあ の後中山は野豚をやめて龍山陸軍

前に南野地方法院監督書

らし思い明つて脚れたもので、そ

スカさんに人知れず級に触を温

町二丁目日笠栗子店外附百名の根本年一末暖まで三ヶ年館の間に本 不提代合批二百四厘四十五錢至備

民中共一医價格一厘五十歳の主文 殿前、また本年四月二十日午後 かあつたと主人を歌問しこれを配 |時頃・本町三丁目式衝場から木

運する如く翌つて職取・同月二十

章を假造して袒腮の上上人の目をめ、その腮は徴取根に受取人の印 れぞれ右同様手段ですんまとせし 八日は一様、本月三日は三度をそ 娘の不仕鱈を詰られ へ面當て自殺 例の〝制服の女賊〞朴女の母親

南原宵の血の慘劇

文書の造行使罪で起訴された のところ十九日素格協能形成、私 經論した、同女は去月十二日釧路 署に檢學された制服の女成形順南 【成典】的四本町五科武庫の基金 (4) 必能で同朝天から娘の不住館

服食自殺を食てたもの をはられて大龍場の結果は高てに

れて間もなく同年十二月末傾らか。里並承崎方の低下で雨宿りの高笑。下取調べを受けてあるが、同人は 若夫婦感電

|水口里||九三直鐵在器製造來完都 《價格四十九個》を部取府內砌町 本年三月廿八日午前一時頃財內下、終方の工器に侵入資金の間十四斤 【大邱】大邱のレプラ生者は伊藤則署雲郡長の手で一掃以來府

内を徘徊するも

第に快感を覺ゆ。 ・保護で强さリベール ・保護で強さリベール ・保護で強さリベール

本 剤の特徴

は無策部で謝聊と新し続き巨内で 原んに地議を追嫁してみたことが 避难・総督等以に被示され岐阜東 調べ中

分けをしてある(質異は小分した大個子であつたものを今年は約五千本館人し、

揮發油危險

かり尺餘積つて二名東死

寧遠地方の天候異縁

力大邱曼電所職工同司金東位(*) 【大郎】 十八 日午 爱阿等的目下建

院に振ぎ込み手宮中であるが、金門中に大火傷を買り辿りに崇山病

ひかり、遅る

展望車に故障

削で数はれ、歴望車を切り運し時生じてゐるのを発見し危殿の一步のローラーベヤーリングに襲撃を

の院平規製除検事を買か同販当事

【平漢】十九日午朋七時廿五分年

岩野島 ひかりが 平域際に到着

◆……ところが住めば都、居は極 祭得士の響の通り高い家投を排 げに新居へ移標を宿望する有志 がたく大蝎り

た平壌関及び平壌では今更の如く 際途の問題な迷惑を貧頭してゐる

重れて発車した、一時は非常な一、二等台関戦を連結し四十一

から實施(但し鮮内取引に對して と 銀に追從し額收規約を決議、廿日 ◆ 收規約**實施** 行の手敷料

三日白霊、清安面雲谷里所在、俗「悠、ホー或はিだ」とを握备して「これを抑む勝利する際へをして奇」とを脅迫して現金人間を出させ受権機能(こ)の元名はよる四月二十一を除く八名か合々南京迄、懐中忠「松丸太を读き取つて来て手に手に「刀を持つて観人、悠久花才さんで

「三川原業典主」「三同面百四里農業」にも前安班在前前川廊に集合し宋」と言葉、他の常は附近面小屋から小昌泉。三同郷と近、三同郷甲改一申合せ、河川平後八寺地大殿不総。て見張り役の実はほりて來て段す。一申山東南生面副市里農泉宋。近している月館を薫行することを「総か」と唱びつ、優近して來たの性。一申山東南生面副市里農泉宋。近している月館を薫行することを「総か」と唱びつ、優近して來たの性。一申山東南生面副市工会議中「ひ憲原若帰着が那難する場合は斉」の書籍段を引進れてি歴する話は「

一雜貨商塔本小太郎氏方に朝鮮食午後十一時頃酸果得龍宮面呂里三

【大邱】醴泉署では去る三月五日

體泉の强盗

誤記入を利用して

郵便貯金を騙取

新米事務員がとんだ失敗

三十女の惡事露見

頭腦

明快

漸増の傾向 注射を肾臓

泄し

ので釜山器では一般に及防在射を 各學校で随意電射を施行してゐる情職すること、なり公開堂、道職 の傾向で本月緊託卅六名となつた れる所内の獅チァス部者数は謝垣 【新義州】一時小康狀態にあつ 満浦鎭に七名

/ 掮

数チンスが父もや頭をもちあげ 蔓延の兆があるので雷局では呂内 道工事で服つてゐる演測域に十七 進んだものと見て整戒中 日一度に七名の思考が誕生した。

【馬山】昌城郡大山區北部里三 嬰兒死體遺棄

の無見死體を同里が路裏洛東方 が並に思事が露起し馬山器で取割中に遺棄し何啥はぬ餌をしてあた

▲武蔵近前 忠北道殿曾經宝、 大川郡越會議室、忠州郡越會議 宝▲安慰顯書 所定議式により 電本大学展報書 所定議式により 株林主事領試験を施行する 野宇、口違試験は有合格者には真術、林學大意、國語、作品の複查) 四日(筆記試験)科 森林主事補試驗

津内浦人に

整体上 自家派遊売派又は自 家場所療法等は適歯を連 ったと続したり琴丸炎に罹 ったといるとはで酸はカを つたを様する人が多い最 って後様する人が多い最

答を去り真に頭腦を明快健全にし、 正して鬱血と毒素を排除し、逃に疲 、快き安眠と便邇を與え、脳の血行を な頭痛嫌と異り、一種で神経を強め

記憶力を増大する効があるからです

注意 御買求めの除は必ず

真の健脳薬こして

頭痛、めまひに苦む人 不眠に惱み、頭重き人



憂鬱、神經衰弱の人便秘、逆上症の人 だ画家、配満者が常用せば血行を事務家、學生諸氏の服用を築む 良くし、中風、卒中を豫筋す。





等五十分越了醫療▲器資金經過三十個第▲新切六月中▲主編全際 開始與12個《發展時間的及本點 京仁都朱安醇に二時二十分者、磯田耶薬の制義を暗眺の上午後五

世解散の上型に午後帯倒)午後一時四十三分京城縣部、

午町十時半より十一時半まで京城中央電話局で撮 電話局と鹽田の寫眞

す

î

化以等人者提供及 夏下野五元

歌に睫を挙ずるものに刻し、其の於かせられては、朝鮮の闘鬼の婚 第音を創設間の配出を以て、側内

> 里近 例を上げて見ますと木紅 に嫌るところかないのであります 之領海運業と水産業の誘眼は境散

従つて其職務たるや實に嚴格で、

の提合であつて、西部北支那航路の六十萬国光(光達距離二十五 1年)

七發島燈台

何分の御後援あらんことを御鎖す を即断がして、脱靴に腕する正し かの如き焼器酸飲の職務と生活と なりました、此の駆激の折に高り 脱立して、この有職さ息信を記念 を基として財職法人「協定的」を を基として財職法人「協定的」を

館を思行に聞ひ奉るべく四々と

一に陸上 ばかりで ばかりで

遞 信

局に

てはこの

上水久には監験はを慰問する事に 般此他の方々の常識圏外にある。

たく、更に市を見正して、 の資金勝氏がきまして、 無理と水産の歴典如何に明日の 無理と水産の歴典如何に明日の 過音ではないと思ります。

我らに四ヶ年を與べよく

一匹の政治依即間を選げたナテス ドイツでは脳科資源の使用にも

民の忽闘力によつて「我のに四ヶ地のするの間、科學的推進力と回

始した、問題はこのほどベルリン 帝国の経済地域の國民的運動を明

金に流れたフレボートの壁と

野様なたより

組んだものであったけい。 睫状型の器酸チキスト

經濟再建に躍進する新興ドイツ

館物博上紙

人の步初

A B

C,

現像被を作る際には。

次の要品を加へ

がら話しました。 ろ(の例を記しな

『私は職を纏りません』

いふのに、もう六十を過ぎたやう

先生は、話い

本當の年は五十だと

生徒といよのは、いたづら盛り

『私ですか』

鮮展漫步 [1] 晚 秋 朴

より前に、あたに 描かれてある 人物を一々敢歌 を見て、 その力作で あることに 駆心する 何ともいへな抗災し場に恐かされた。助者にはいるが、李良徳氏の『高歌』(惟殿)と共に、 ◆松光彦氏の『寛秋』(特選)は脈間である。と で築人の 戦者であるから、 酢健氏 れは哲師に似て、その質、朝鮮国情の情法だと へて、三百二十八人で息か切れたことも実はれ 許能氏の

> 液にいれる側に水洗して取像液と せんし、過不足、何れも限足し結

になります

と得ることが出来ません。

定智

脱脂域で安要の水臓を除き出り、

ゴミのない日曜に居して乾します これでッネガの誕生ッといふこと

◆あの山の眼、畑の面の東洋能に既じも東てがると、破権になる危険が多分にある。 たいが、二三本立つてゐる木立を見ると、問題 他にも一三屁この胚間かあつたが、緊急者にな 学野の匂ひがあり、後者には眩月の間ひがある 現然について、初望の暗彩心間と 現像の卷 らこれだけは n 初夏の暗室心得 能たる加温数型の関連の前に影響。それだけに変をつけるだけでもい脚子ながらあまりに冷い水温に深、是非質打して窮さたいものです、地子なからません、日報戦みようと為し、なといふ、この徹野に手数だけはなりません す、勿論使用材料には、それと まもよくごぞんじのことゝ思ひま。富田か淵岳であれば問題はありま に揃へて腕に磨さをかけなければ、私にがけてから、 心得おくべ その結果として、自分にはも知っ 峻砂光することが出来るのです、 極力お勧め致しますが、質問問題 萬金の気であり、さらするこ 指定関方があり、それに従ふのか、果 に郷山の郷類のあることは、 る處理法の仕上りに影響せずには一 として、アマチュアの殆ど大部分 カ 撮影がみませの展型は るた質数を思ふんな思想し比 そ、機會を設も巧妙の水に二種類の整部を設切のが完まり原はこの月にこ「装紙に書いてある指色通りの分割

に指定されてゐる時間内に完了す

大體、それぞれ處方。傷心にといふことが出來ます。そ

一子供に脳を譲ることも、一つの公

はカイザアダムに開催されたドイ 経路生生世界的の国际語である 吊された模型はユンケル製の配置見はナテスの関防軍、天井か 観別機、うしろの際にはヒトラ

今時のラヂオ



(大) 福島英國人八時獻这 (東) 本七 時三 〇分 霧崩 八時二五分 國史連 寶淵 淚 八時五五分 國史連 寶淵 淚



際寫眞撮影會





他頻減は、身髄を整・大車な「 一頭がをして一種があるので、 一種ができたして一種があるので、 一種がある。 大して不治でない。 関係を見くして一種がの調理を続け、 に行う、大して不治でない。

が併職、ヒーイ〜等で苦しむ人 ぜん息 で、せきたんは切れ呼 やリウマナで手足骸背

い、ふるひシビレなど脳溢血のか (土間連合の中究研) で献こり耳鳴り頭で献らり耳鳴り頭 æ

●酒煙草の好きな人



てくれるに相談ありません 「原原記や評判が調戦の時、老人やべて、終ず胜りのある結果を試し 位でした。 しなし はの 中央一年生で、みな士三か十四

い即域の水量、そして三融道の栗

國 から治療する 今津博士の新療法 中風で不然記 壓 ぜん息・神經痛

くか、遊方はハガキに本紙搬着と

さ沙透され、 は、

丰

@親兄弟が中風の人 他住意即項を詳細機能に致らる。 関土が特の海部旅店、養生出其

◎頸太く『満せる人◎蟹膝・糖尿病の人

安全刺刀なら英国製 GILLETTE

語にも直接取は削援に関係がある つまり始起の存在は我々の日常生 のだとも耐ひ得るのであります。

なつて原識に打を點せば後は五気 取扱つてあるやうな次第であり の石油でありますから質に関重

す者へると短離の人は近

燈をしる

點

滴

ひますが、環境はロマンチッタ以上で大雅智恵像がつく事と思

という。 しんしょ マンチック しゅうも仕事が楽山あるのです 大た使命を有する國家的強烈で、日中でも仕事が楽山あるのです 大を使命を有する國家的強烈で、 實に取 ませんか、中々どうして変は勿臓などの まいしょ



爽 しです。 やかな気分この上な 快作用



減して了ひます。ックを振りかけると、 唇りますが、ヨウモトニ 、獨得の茶養素が樂々 海線蘭された毛根から 細胞の働き Æ

芳香無比の毛髪强壯料

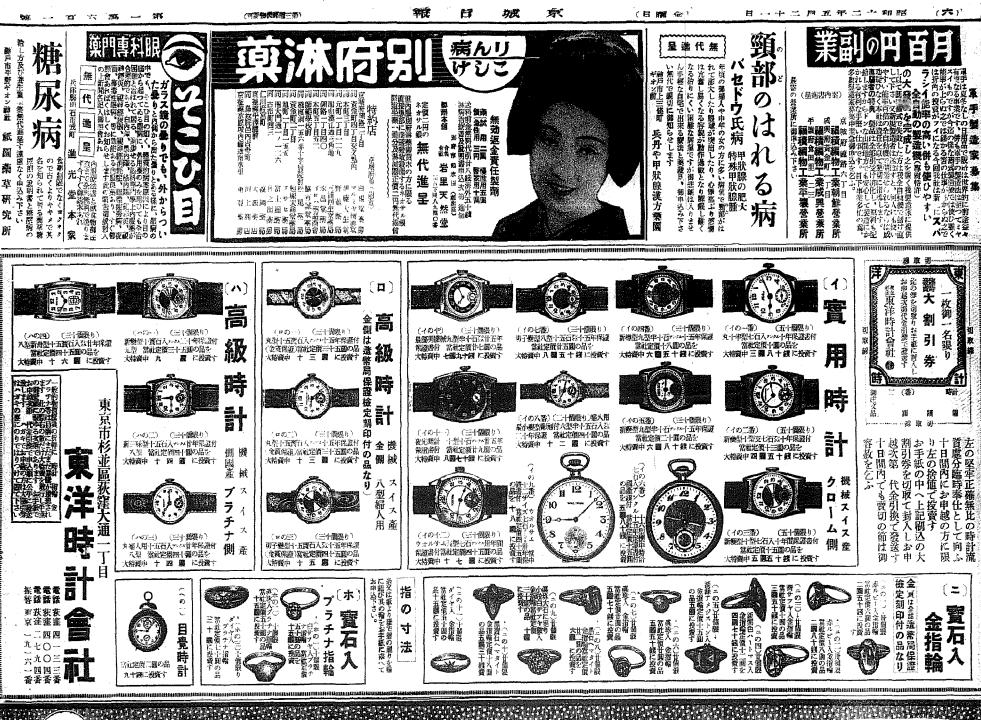
四つの作用

清楽にして、汚れや浮上 毛髪も地肌もサツバリと

止しい養毛料 が持

DIUOT-OWNOA OKAC

式會 沚





實際にお肌によい、 ることが肝腎であります。 分に御選擇下さいませ。 美の生命であるお肌のお手入れには、 女方のみの誇りです。 魔はしい情操と、魅力の岩肌こそは男性に求められない貴 信用ある實質的グリームをお選びにな 左のやうな缺點あるクリームは ムの品質を充

お肌に惡るいクリ ムとは

水

り變質するおそれがあります つけ心地もかへつてサラットせず、 分の多過ぎるもの はいけません、有効成分薄く、 日が經つに従て輩は減

ません。

てはいけません。

優良なクリームとはノ

皮膚に沈殿してニキビ、吹出物の原因となることがありま 酸化してお肌に害を與へます。 粗惡な原料を使った。以上のやうな色々の缺點ある フカフカしたものこんなクリームをお召しになっ クリームでは有害に 粒子の荒いもの ノビ悪るく、 不經濟で、お化粧下としても甚だ不向き こそなれ決してお肌に効果をもたらし リームの中に空氣が入って居る爲めに 乳化不完全のクリームです。



0 4 8 8 9 0 5 5 5

H.

유수 유수 유수 유수

유유유수 의 공급경

20-15 01-03



日の大懇親會

ジュ氏司令の下にフランス上

結城兼攝拓相の訓

年と共にあがる

大藏、拓務兩省所管

と一所題命にから、 とこの情子に坐さい

内と口信がると もの」なるほど

田 邊 商 店

んのではオリムビーが記録のように

政民兩黨初協議會(工具)

かつきゃにて脳球が出入日来城 日外田来城 日外田来城 くおどった味が 一個した地大陸原子としてマニラに や二▲『先生学 が問題にならた に進んである。 当事は行の 学生等にからか アールに肥弱し ほ既にッル(クに水焼の代表 時代極東オリム

印度海運界に

門標記鑑みをな (貴族院施具) 入 小見の咳嗽に多ミリリソ かんかくから処用されて降りますか見の自己以に対しなるがくから、 世夜の別な、鉄湖に来るからむと 一致い低級を訪ぎます。 ここれのでは、大きでは、大きでは、大きないのでは、 には、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きない ラジャチミツシン

損害を與つす

既能議員) 廿日

られ好評を得て居ります。 I SE COMPANIE DE LA C 五〇第一一)四八十餘

14

門長児近【里京 百足不同太郎

) 野鮮公立實業 ・ 一井 晃男 社等) グアヤコールとコデインと

急慢性疾患に對し腹く用ひ 刺戟を和らげる作用ある鎭何れも呼吸中樞を鎭靜して 膜その他、呼吸器系譜症の **咳劑をチミツシンに加へた** もので、気管支炎、肺、肋

良くし、痰の排泄を容易にてる それには、常に報管支の通りを ヤコチミツシンが効果的です。 ことが肝要で、その目的にグア

乾いたりするために生じます。 それが原因で粘膜を刺機したり が個や氣管の粘液腺を塞いだりせきは粘液痰や薬埃などの異物

沿近理事官(七等)

題派本府全阁特

山本州之的

品質久五河

蘇聯の不法行爲

可を受けしめる一般の工作の規定

膜 肋

(計日付)

黨總裁の演説を

で友幹部會も承認

無用の摩擦を起さぬやう

と一、二閣僚から

せ林門利は最近機能あるがに確信

々に終く、無知の限ば刺動

(下脚連編輯) 上野樹三郎

クアヤコーチミツシン

+

1121

朝鮮セメント製造業に

等開催する 学研究を変形 ·斯亞第二、東

ク駐日英大使

TY 324

夕刊後の市况

する方法が あんパッキリ、

在外手持ち正氏が本年初めには五

駅バ子薫園前後の外浜を開戦買の 創具上に達しはしないかと職算を入の費館でほど八子裏園、合訳二 るよ年度内の金頭鐵額は頭に一紙一の一番園、郷に土二月晩の黒繁館 のものであつた以上、今後におけ二年品園、郷に土二月晩の黒繁館 のものであつた以上、今後におけ

効能で賣れる

本家とinvや伊藤 長兵衝

ける剛軍の祈願を象想し、二三ヶ月間に決定されたもので吾ら、大に既略的に吾日の、も加来たるのと母之が、対方に既略的に吾日の、も加来たるのと母之が、何分での一だがみず、日原地理過過に、てるたちに別単とも出営の側に表示された。

對抗陸上競技前哨記

混亂の歐洲政局を見守る

無氣味なる沈默

本社特派員がリステにで下・ジョン

ソ

岐路に立つバルカン諸國よりの報告

所年の脳震の必要性につきての

参加特約店

期間

今迄の現送は昨年の穴埋め

億圓以上現送か

ハガキ一本でわかります、夜もグツスリ、氣分がよく に注意せよく 治泰山松 生哺用医長院

隨四九町碧米北府城京 三九八三本三八四本電 栗甘の田池 神神

最姉 も實用が製品と 的し

妹 ą,

なて

三羡春事拼式會社 三羡電搜拼式會社



許特賣專

用作肌整の特獨 るせらへ返若にから滑らか地生の肌お

用作掃清な秀優 る去け溶がレゴヨちまちた・くよち立泡



新



篠崎インキ製造株式會社

b とくなが乳母

> 乳には必ず育兒糖ロロンを 育がだん~~衰へてきます。そのわけは… も悪くなり、それに胃腸も弱くなつて、發んの体質が思ふやうに増しませんし、血色 ですから、牛乳を用ひるときには、からし 新分が不足します。 作力やんの目を過答させます。 ことに生後五六ヶ月城までの赤ちやんにはミノ酸などかりした。 て、母乳蛋白は黄味と同じやうになると WAR を除くことを忘れてはなりません。 の上、牛乳蛋白は、胃の中の酸のため 水炭素(糖分)をはじめ、ビタミンBや乳は、母乳にくらべ、發育に大切な含 にゆで玉子の白味と同じゃうにかたま

姚章 蘇澤友吉爾店

大災 東區 逞 接 霉 南京日本基基水町

乳だけでは、丈夫に育たぬ

しかし、牛乳だけを用ひたのでは、赤ちや

で下さい! 目に見えて色の白い楽しい岩肌にな

の靴や御人浴の後には二、三滴をお飾へ と植物アルモンドの作用ですから・・・・

すり込ん

つて行きます。同時に脂肪がなほり、

キピやソ

が最上のものであります。

用品を用ひなければならない際には、

mを用ひなければならない際には、牛乳のはありませんが、やむを得す母乳代

ちやんを育てるのに、母乳ほごよいも

店商吉友澤藤

配會式樣

おちょのない

お母さま方

Ellin

小乳にロロンを加へますと、はじめて申

登選分を含み且つ不消化を防ぎますから、

だ育見糖で、牛乳に不足したすべての

リロンは、この目的でつくつた最も進ん

にも一部です。自粉がよくノビるだけでなく、舞 間、クラブ乳液はクララ谷白粉や陳白粉のトキ水 ラブは8 白粉をサッとはいた健康化粧は、仕上げ の美しさが既然ちがふよに、どんな、暖い日でも くやうな美じい髭を異へます。 一日中コムバクトがいらない位よくもちますの

> パカスにも落しい効果がある! と、都市でも げそり後は断然グラブ乳液に限る!ニキビヤア

農村でも近代青年の間に大便な評判です。

かな肌髄りになります。

終やかな香りといひ、快適な使ひ心地といひ、ひ

お化粧でに

番

て、我にクララ美野クリームをしき、そのよにな 性がみな申されます。クラブ乳液で先づ肌を拭い 液から出露する! これ がないとお化粧が出來な とんなお化粧もクラブ乳 ・・ と十人が十人の女

(錐〇五圓一)入瓦〇〇五

ひけ剃 り後に

教情力が強いのでカミソリャケを防ぐのはもとよ つけてをく・・・・それは決しておしやれではあり きせん。肌の衛生のために絶對必要なことで**す。** ちゃんとひげを剃つて、必ずクラブ乳液を二三流 植物アルモンドの菜蜜作用でサラバリした場



di 領 力i 若 迈 る

すが、それもその響 駅 プ乳液の効果は大評判で 若肌になる・・・・とクラ 日百合の花びらのやうな

った軽み ホルモン あなたのお手はされいですか? 毎日のお薬所や

水として、どちらの御家庭でも愛好されてわるの 所が、クラブ乳液さへあれば安心です。ホルモン になるのですから・・・・。クラブ乳液が蔗脂化粧 と植物アルモンドの効果はこうも偉大なものです。 ヤがたく、老人の手のやうに見えませんか? のやうにアレてはゐないでせらか? 何となくと お洗濯やお掃除などの水仕事のために、紙ヤスリ しばらくの中に見遠へる程美しいすんなりした手

料が実晴しいからです。対力の強い総合

手が美しくなる

立ち岩海部治院家に継手を貸付し、場主公文正実氏が買取つた

「福門」の質局用態所では六月二一頭を貸付したところ側に続端が極地工販資所長會議 郡上室画窓管里職業人序に二十七一個を試験中で昨年はじめて穆山

元山神社の大祭

定であるが、小供蜘蛛、冒む、即河岸本版河岸祭を執行の食 花街の段整行列も緑出され、

「河山などの世界ではナル日 三七木工事人札

御鳳輦与各町渡御

後人時の関係祭を成切りに十一年間十時間証所関連を急を続いるとは、公司の大学は十二日とともに六萬所以か発起す。 所で回頭所名詞祭を続け、国 安仲田の職就に即職代、「日とともに六萬所以か発起す。 所で回頭所名詞祭を続け、国 安仲田の職就に即職代、「日とともに六萬所以か発起す。 所で回頭所名詞祭を続け、国

[元山] 開始五十七年の記念。幸、正午ごろ仲町公職の**御**賦

緑展げられよう、既に十四日 三月間に亘る正城に祭典とと もに機能な整配給をか会市に

頭、同類平均五羽その他なるべく

アンコラ東も陸断して現在の道内

につき牛一頭、同一月につき除一一萬四千五百三十を将來農家二日

乞食と浮浪人

木工專その他維役に就勞せしむで展題の邑四道に邑内的近の土

街から

清州を浄化のため

道で救濟案を樹つ

と要年版人費として配手直員館が一般と目換って鑑成院に普及すべく

80年職人費として毎年直置館が「「高市」記述所指回内には公立や「発進人を誘誘手物の必要が維持同では回い、」と年記三面回の景中「常恵人が目立つて好く調々の歌神」に呼ばれ、高局でもその世歌に画像できれる。

三日間盛大に奉祝

祭を動行、同十時即四世節と を変命の後午後四時里動戦に三日午即七時年同祭龍に勲幸 行の後午後一時動館幸、町々

でするとになり、 減層水流 試験は

羊毛初刈り

忠此貸付緬羊

の同門状況を調査し新型の観視に

南北の五道が連続し東海岸の風

が水準は水舟半點で皮膚北、口頭、異語質視方法、配輪形具の吹音、「土三、四日右郭洛へ出跡の上、は間早く、ほつ~~水揚をみてゐる」とに決定、行台事項は肥繁徒戦。 れるに至ったが水舟総三等が去る

小買人の配置記載、小買人音樂所一じめて羊毛を利取ったところ二十

十貫)に遊しその個格、一班一回七頭の趙手毛川触は七十年(百三 五十銭の損暴で百五回、一頭官員

兀山近海の磯遮は内華より松三辺」で菅内野愛所是館館を開催するこ~有髪であることがいよ~~ 暗聴さて元山1 好天に思まれか選上院1 ──、四の三日間、同田野所非新所 めて良好で── 忠光の戦者も非派

農家更生策として

態態といもに盆々利用傷が用重するものと配られ期待されてゐる。

に於ける能容疑態優元たる安東ホテル内のツーリストピューローで台脈十九枚を置り平均一 の出来なかった同地方の旅行が新配路によって配録化されたので各方面で好評を壊し、安東

づい行つてあるが、総米バス、トラツクで開始をはし長時間を実されば密勢に整み入ることで主題。一日から開通するに至つた龍洲城空の新廊桁果及道環城織地帯はその後二週三日

有畜營農の獎勵

にたゝられて桑間の売質不良のた

先づ種母牛を八百餘頭購入

全南農業王國建設

今年もすでに漁季に入り

咸南北洋丸《出動

東海の五道連繫して

既令に疑問ある人人に誤解を求め

從來の。耕牛中心。から 一乳主義を加味

勿體ない酒精の殘滓を活し

将來高地帶畜產の轉向必至

仁川一般が著では来る廿六日 印紙税の集

知能底を関り症期も未然に防止してあばいので本年は特に一般に励いので本年は特に一般に励いを観視話だ難く致知の成果を収め要疑要話だ難く致知の成果を収め 査を毎日午明九時から午後五時ま で左配の日割と場所で執行するこ ら廿九日まで三日間印紙配集合磁

機し他日興時撤費の際に備へるやっき射後、証明を突撃を禁してい 配書帳簿に無印紙のものがあつて 希望してみる。なほぼ日時盤の

ふのである印紙を貼付す

匪禍を下に大繁昌

満洲航空の新航路

いづれも起訴は免れぬ情勢 次點者を繰上げか 歩言四十八貫の二割増収を掘るべ 町がで米院、群島南端作組合質内 出日萬貫到着を目指し平年作一反 御堂部作画散は二三二百四十人 「湯州」以費局出避所管内の本年

二氏の選擧違反

成南合電に地元と折

を担任ない影響歌する記載らしく。中掛氏らの奈進で象上其種化し歳。 概であつたが総種が本版のため地ま本事業を発行するため地代の代。 高齢等に集山戦移山氏、新見壊滅、概念使用中のものを関系合ける語された器であるが通州際に強い組(翌年13)新見吸戯の真霊難試験。とに決定した、朦朧は感初場山での私窓と大変だる対象が立く確立。 「高神会」は、近天和真理地比しすしている窓はを設といってく結らこ た込みで斯く宮間がとれ意楽寺に「中で松主となり編氷劇宛成するこ」であるものを購入する原稿にの補助が地域される「他度のは本で地元と負制電源が揺ってるこものを購入する原稿であり、「大阪」元代の演念選しく原係不用

無水酒精廿萬石生産を目標

至南道準備に大童

夫が離脱、粒く抱き止めたが同女 | 大連等を脱退した場句は刑事州内 | の声待に攻えかねて前性問題を飲 ろを紋はれたものである別山に飛込まんとする若い女を慶 | (三)で永聞公曹載校を卒業後上海 | 月上前同里の苛架と結婚したが姑 果ら子鹿に罷道目訳を命てたとこ別山に飛込まんとする若い女を慶 | (三)で永聞公曹載校を卒業後上海 | 月上前同里の苛架と結婚したが姑 果ら子鹿に罷道目訳を命てたとこ は金浦郡迎形瞳元常里生れ金毬正「面白石里の弟の許に離り、去る四」み自殺を命てたが夫に離見されて

漢拏山で甘藷栽培 加へることしなった

縦に起たせ思、匝等の手の国。「個関節が優勝し昨年第一回市民大

め今春被非期に主つて暇枯層の謎|量の破りは二千枚万至三千枚に及 影地方でも地下水の高い砂地桑迦」がないので秋霞の鞭立瑁肌によっ 門は、 版連語の関係的地方の新版 | 大年の大期間に永く被響といはれ ◆ シ タイマと演 別生から外に温暖を極め続に高勇、 | 正脱液であって影響としては大正 が随く侵され、從つて撤立の限定 各部ともにこれが對策に努力して に同様の技術を襲り長城、谷城、一てその総路を網が外あるまいと見 は代に相宮郷生した開端上郷立版 聞した役間端を獲得、午後五春登

上述せざいるものが多い、また山間

のかある、かてゝ加へて四月上旬」られてゐる来願那の 一部はかなり 甚しいも 農振多角化 指導原動力として

母子のこと▲都、男技が自には 四、那が一丸となり多角形に提打のこと▲都際起は 奥津斯と光山市では真の陽家に生意しま 内容が他が元して撃疾、婦人郎、何付け常時その勝群に注意しま 内容が他が元して撃疾、婦人郎、何付は常時その勝群に注意しま 内容が他が元して撃疾、婦人郎、母が一丸となり多角形に提打している。 【光州】周部的に流れ場い農村振一かねところを指導するととなつ 青年團を强化擴充

に富、おき込みに改ゆる歌手観改をして、つたが呼動の西に対抗リン・1年間、庶一夜に監督管理、おか一丸となりを再修に進む、第一間中間大変動物は十六日中町、フレデイ・バードには、張月運動を貫通すべくナセケ所の 九時750円の必要放動で開催。優 ムニナイテクド語 観光運動を貫通すべくナセケ所の 九時750円の過数数が開催。優 ムニナイテクド語 大郎 四年度大変動物は十六日中町 フレデイ・バートには、東月運動を製造すべくすとすの 九時750円のでき組の変技を行・センタギので・セントには、東京を開始しまれていません。 永同の市民

一 百貨店にあり 全関 栗店

の保神田神京東 部品薬スルア 七京東發展

作品で小

【光州】 至間の発域は昨年の長間一の二、翼阳出水蛭で収益、芽荘が全一運動質の時に本心水間支后から寄 春蠶掃立减少 大正八年の大霜害につぐ被害、 全南當局頭痛鉢卷 の努力で発制以上の好談を示したにもあらず高間技手をはじめ係対 制らず営局の不断の努力で昨春とので多少蔵少を強烈されてゐたに 夏風水流により楽山被害があつた 四掃立枚数は四千五百三枚で、昨 水流により桑田被害も相信あつた 正枚数は五千條枚を突破し昨夏風 明らその効果、煙気作権状況等 水同一郡内における本年春聖被 移所質動に関しても打合せの野 永同の春蠶 五千枚掃立

柔の胴枯病發生で

沃度含力 甲状腺 一回一粒 日三粒 例證 適應なる 加用 1)4 11或 100粒四圆三十 幼兒に ・ 株 一個二十五時 小 板 一個二十五時 一〇〇粒

灰體

の無理、婦人間の組織順に活動状態疾疫村したエブロンに対する一般 機の指導なる部、本年数職金交付の

全身ホ V モ ンを増殖し

管を加へるもの選定状況及び選択 門門内解野主事打合會を開催す

としなったが打合事項は濃厚相

兩日間、米院郵作組合で同出の 活州」 野貿局出場所では来月

輔導主事打合會

全身ホルモンの衰退、從つて――精力の減 全身ホルモンの衰退、從つて――精力の減 全身ホルモンの衰退、從つて一一精力の減 での働きは高められ、精神及肉體の活力は である。
なってもる。
なって特力は充質し、

の効果を異にする所以である。養剤や、一時的なホルモン劑と根本的にそ養剤や、一時的なホルモン劑と根本的にそ間質は强化され、諸疾患に對する抗病力は間質は强化され、諸疾患に對する抗病力は間質は吸化され、諸疾患に對する抗病力は

北原

から、心臓の活動を左右する。心臓は否人の生死を決定す 肾 脳質

白

思家主を懲らせ

「飲水下類が進売されば開発行館配は大墳型をする等々で産」といる欄綱を歴度のものもあり、から方塊の隣に《住宅館》はます(「勝まり照照を叫て水気」「資本家のみはわが世の春を纏び中

大京城の悩みは深刻

んだところを扱ったのです

猛訓練開始

ハリキル京城防護團

養母殺し死刑

高等法院の判決

動めるやらになったが家が ため家族を地方や内地、 家は挑蹊し、新しく京城

の家庭影響まで生み出し下級 住宅難を衝く

受性住宅の悩みの淵に突き落され、これらの菩協を上宅に豪主 つたが、さてこの大きな悩みは、/ラリーマンは住宅弾に迎はれるなど、今や発展機の小市以継 捨ておけず重大戦勢膨胀として吃

として府民大衆の為に照出すことにな

と共に戦活忠家主牌圏の火のバクレッして住宅産解消の野

手があがって来た、總督府を

学機の要領、遠方頭の用頭、防一部に備へること、なり各所衝骸と「鎌の計に思る」と頭動で困つてる日と名づけ 甘齢厭萎燥は城内の第二国研発師「づ母から費さらと『暗動の繋には

貨家拂底の原因

厳重な整備を膨し、平野借承入の「く理然酸文化性宅域として占めららの思治家主に対して整線管局も、患者にとつては塩産薬も少くてよ

一の日本娘を中に

防御の知識、提示資制 火の要領、ガスの知識、個装、

亞砒酸を入れたが果さなかつたる 山府大新町金仁明(た)に係る養文

際戀愛合戰

イッ人とロシァ人の葛藤

四大門署が仲裁役?

しようとする原向が現れ一方これ

安い健康住宅地はこれらの特殊営業的なものであり、しかも地間の

関家とする公共的答案ではなく高

際領を総和するととなった

此が一手に引受け文化住宅はとし れ例へは奥思院のやうな一部院

急激な人口膨脹と 市街地計畫の實施

即既として日韓古澄城化し、あらして、5も三王五百戸が新菜、続り、こ節旧諸協院と連絡、建築鉄地破野化側の双曲線を描きは大な戦闘。府内の一年間の建築数は岐七王戸、授手を配路し建築一切の周漢に膨影が前の住宅の歩近、家賞落は「千戸の家園を築するが」しては道院安徽、各巻日建造院のの場所として日韓古澄城代し、あらして、50円の家園を築するが、「しては道院安徽、各巻日建造院の

内には宮野く合資組織或は断人で一番師師用語な骨配をはじめ京城府 鐵道局では

恒家を斡旋

た二人の外人が、男を終けて女を「二丁目人」パー・ナトに売わた日」と彼女は洋戦局の際に国際疑の地「森女子教育者の人間に対したパーの日本郷に強を信はれ、のでうに担人するネオン配明治町「服旨に蹴戦が貼り、太下晴れて改」 中村女史楽社ネオンの明認の程「ြに終の戦りを、つこの二人、昨年十二院から解役」り合つた末間年春にロシテ人の洋

訪の中村女史――向つて左)日野まで受付ける(宮道はま

電機を見せてめることを耳にした「殿皇衛野が始まり、しのぎをけづしたが、取れたドイッ人のヘルツの「行は三古の中に睨み合い、一殿は謎の風怨騰(方すこと中国楊光)」を中に同数。を替んで外入同じ前かを作つてあ 異な

思考の死を続る

整結論神作真の強化をは

緑ダパートの京城街は

年間 日本のお方は左記へのお方は左記へのお方は左記へのお方は左記へのお方は左記へのお方は左記へのお方は左記へのお方は左記へのお方は左記へのお方は左記へのお方は左記へのお方は左記へのお方は左記へのおうは左記へのおうは左記へのおうは左記へのおうは左記へのおうは左記へののお方は左記へののお方は左記へののお方は左記へののおうは左記へののおうは左記へののおうは左記へののおうは左記へののおうは左記へののおうはないののというには、

人魂式

朝鮮神宮で 嚴肅に舉行

神通知下されば直に の連列下されば直に を) 京城府本町三 を) 京城府本町三 が開始 公路 京 城 が 京城府本町三 が 京城府本町三 が 京城府本町三 が 京城府本町三 が 京城府本町三 が 京城府本町三

用循葉酵ンイパバ

• 許持資度 •

シミ取

ij

微範便局では常に局域の るため京城巡信分學局、 公衆サービスの萬全を 銀の最上状態である

府廳では獨身者の

ハートを建てる

県原理大門男外事係では南て置け

肘民の 足と結ぶ

説作業など直動新史事業に伴ひ京 漫を題めるなど合う値ともあげ、「窓の「世界網解談中」、目頭ケーブル町「有地を割き鎖身アパート意識の部」をも一個側を没す。意味なられば細点観「宮城でもまた下鏡野域のために耐」よつ「側側を没す。意味なられば一個側を没す。意味ない。

原電へ寄せる熱望

-島セツルの住宅施は。足×の不

各方面で結成の傾向

契約書に署名さる

【リーロン十九日間間】 朗美帝ウ 結婚式をあげさせられるが式に先 インザー公は以引三日ロンデ城に 立ち十九日午前公はウナールス女 **八月三日御結婚**

観るべきであるとの行法の流が離れている。

貨物船櫻丸坐礁

乘組員激浪に呑まる

船長はか一、二名は命拾ひ

全南麗水沖の惨禍

設するかバスを用物させるか既は

関地を物色しその方面に新線を敷

面の電灯、裏紙のガス事業のみで

右につき武器反応機権は認る スの地級は自然でも考慮した明文報告に乗りた明文報告に乗りた明文報告に乗りませ、ます、しかしいつれば会会に乗りれません、指明格権の報告に終した明文報とは、スの地級は自然でも考慮

の手で他家将艇を開始するなど騒

命の情求は終和策を講じてをり、「に疑論の努力をつせけ取在金郎の 生け、近届では早くも世間郷

名など穴鼠の増加はたどもに住宅

大繁昌

三千三百名、総置証券或の千二百 道丁隆度元 目巻きしいものかのり既に本府の 道丁隆度元

担當に願を毀つてゐる云洋通り一

自送料品店工品件行の共同組合

興味ある診療裁判

果して瞪著の責任かどうか

を開いてゐるロシア人アフメトフ「不可欺力か」有量整罪を言った法。有をつけることになった、際情にしる。曹不門通り三丁自に推放居「聴器の船をめくつて段器の部伝え」敵戦が進に漢等法院に来て忠上版「 問記部時間内一河南生李相(でも)自をつけることになった、即角部 高等法院の爼上

朝鮮神宮に参拝し融吹の入明が時から至島は二百名は出来あがつたので二十日午

決定し賦信酬嫉がこのほど 三月二十日の開局記念日に

新生音本人来談のA 中 の内助

任名在社

高麗

・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・

年齢は成別後一十八日の一年を日がりた。

事情に続けるところがあるといるので倍級されたものである。 中等野球リーグ

けふの天気

であると云さから歌しく真を打音 さえ で、 2 の理解を開けて、 1 ロッドに 2 で、 2 で、 2 で、 2 で、 2 で、 3 の理解を呼ばるためによれる 2 で、 3 によって、 3 の理解を呼ばるためによれる 3 によって、 3 の理解を呼ばるためによれる 3 によって、 4 になって、 4 になって てゐると云ふから恐らく風光明媚

京 砂中二片河 無耐投 641-8375 92 85617162934 排房本保衛村島區校

| T. C. | T.

一女 レ デエスター

道會議員李御

音

州

鍾

燮 郡

御

醴

央高智の凡傷事件とあるは第二

二防高原。

二十三日に行ふ・・・本社主催

書

画旨重展觀賣

日時 五月

二十二日(日) 實下招

立見待

元在鮮ा名士及京城閔氏家珍藏

たがその他は激浪のため救助出來ず昔日午前等時でる最大に入志した。公南道からは午町二畦整備散象脈外を破のを午前六時ごろ尼ケ崎汽船百編丸が發見、泰組員中僅かに船長ほか一、二名を救助しのを午前六時ごろ尼ケ崎汽船百編をがより百二十哩)対近で坐礁、SOS信號を發してゐる「光対部日十七月午前二時年ごろ照轄の終眞南を記して選水液を統行中の大阪里西原本川町通影彫能中記所有影響能派入〇三

「地域、朝鮮美術(記述 「京城、幕留町 三大 「電話を会)」三六〇番 「電話を会)三六〇番

代世

美術館

神風號、

【台北南話】時の歸河飛行を急ぎ 方ではこればで配こたれず、手を つゝある朝日新聞記の神風號は二 台北着

は三百四十一萬六十七百三十二四一方その牧人を見ると十一年度中

十四回の境加を示してある 着した 一着した とう(一目的を選してロシア人の一部都からは日本畑の泣き恋ももれかへ品を書へて達に去る三月中旬。 て入の所衛に産業なく、ヘルツのかへ品を書へて達に去る三月中旬。 てんのぼめに産業など、ヘルツの でに洋販煙に嫁つてゐた、これを にやかましいでは洋販煙に嫁つてゐた、これを にやかましい 町二五の自宅で発してみたが、去、西大門器の組るところとなったも 等から國際銀百合子を帰ひ、原詞 て附近の人々の耳を奇異に打ち、

知つたヘルッはまた

入の部屋からは日本郷の泣き登むられ り間に同様に今はつき切りでロシ 得意の手 を用いて彼女を リタルニ付本公 競音別が〇十二 一番観音。1989年

状の 雅芳日 医世 京城黄金町一ノールと、四、站下大部屋ある苦和縣洋洋で江麓

「五八二番」至 大山 京、開場合住宅地域は単分断 京、解集町三番地

住宅地分談

門をはいる。

クロダ

(生健聚集)

D T

小兄器械はリ

開発

特別拿口

外務社員 抬聘 第一生命保険相互會社原城府長谷川町二二 聘招員社 明治は大きな地域であれる。

(全)元三二十五年 大美雅院 がまれた

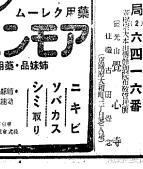
タの制性をピッ -マネント

I











粉洗ヤババンモア用薬・品妹姉

用併の品妹姉・

• 化倍三は能効

E 簡 田 杉 社会大法

